



2011年 第2号 発行日2011.9.1

医療法人ウイング 高城病院

# ウイング ICT 新聞

## 「院内感染の基本は手洗いから」

いつもきちんと手洗いでできていますか？「面倒くさいから...」という理由だけで、きちんと手を洗わなかったりしていませんか？しっかり手洗いしていないと、手には目に見えない細菌・ウイルスがたくさん付着しています。

風邪の8～9割はウイルスが原因といわれ、成人では、平均1年に2～3回、小児では5～6回も風邪ウイルスに感染しているというデータもあります。くしゃみや咳でも感染しますが、意外なことに「手」を介した感染が、一番多い感染パターンになるのです。「鼻をかむ」、「鼻を手でこする」、「くしゃみ・咳を手で覆う」など行った手で、医療機器、手すり、ドアノブに触れると、そこにウイルスが付着。そこを別の人が触れ、その手で鼻や口のまわりを無意識に触れることで感染が起こるのです。ある調査によると、風邪ウイルスの1種であるライノウイルスをコーヒーカップの柄に付着して使用させたところ、約50%の人が感染したとの報告もあります。

### 手洗いの基本的考え (5箇条)

- ・スタッフ自身が院内感染の原因になることを理解する。
- ・目に見える汚れにはまず流水手洗いをを行う。
- ・患者に触れる前後は必ず手洗いする。
- ・手袋をはめても手洗いは必要である。
- ・手荒れ防止も重要な感染防止策である。

### 風邪以外にもこんな細菌やウイルスも...

インフルエンザウイルスは、ドアノブなどの環境表面で2～8時間程度生存できます。院内感染を引き起こす代表的なMRSAや病原性大腸菌(O-157など)・ノロウイルスによる食中毒は、主に手の汚染によって引き起こされることが知られています。患者付近の衣類や物品にも細菌が付着し、乾燥に強いブドウ球菌や腸球菌などは長時間生存します。これらを蔓延化させないことは医療者の重要な役目です。

### 忙しく働く人ほど、アルコール消毒を！！

業務が忙しくなると手洗いがおろそかになる危険性があるため、容易に手洗いができる環境が重要です。そこで、アルコール消毒薬を診察台や処置台に複数個常備したり、またはポケットサイズ容器で持ち歩いたりなどで時間が1/4程度まで短縮できます。アルコール消毒剤は、インフルエンザウイルスなどの各種ウイルスをわずか10秒で不活化することが確認されており、石けん手洗いよりも消毒効果にすぐれていることが実証されています。